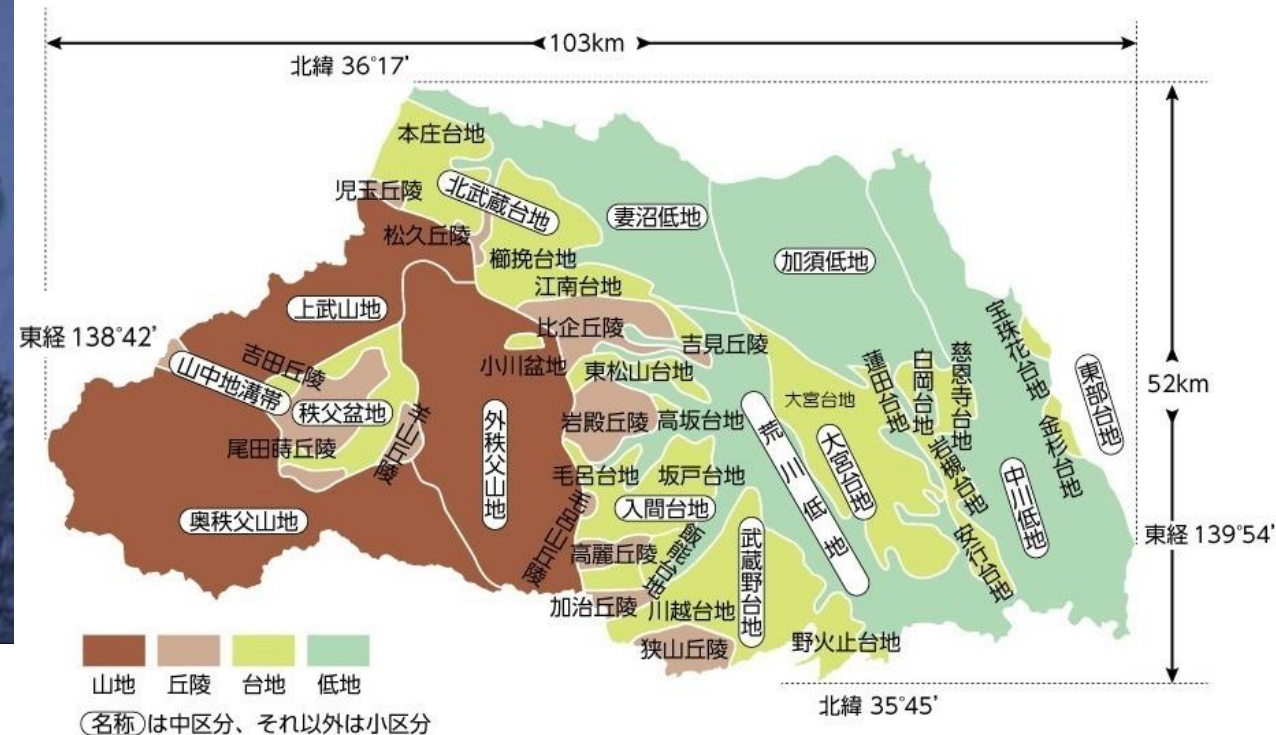
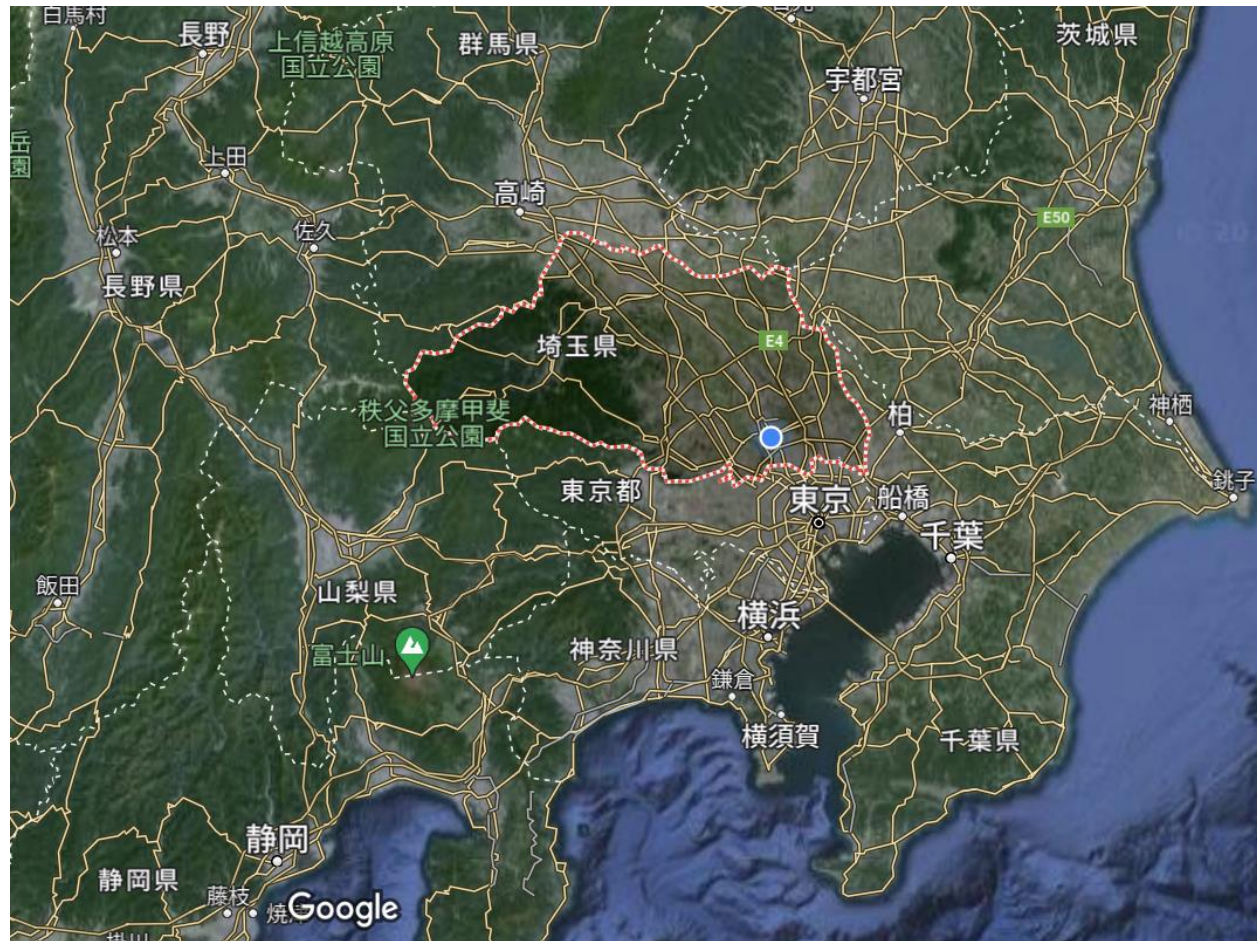


埼玉版スーパー・シティプロジェクトについて

令和7年1月23日（木）
埼玉県環境部エネルギー環境課

埼玉県の概要（地形）



資料：村本達郎「埼玉県の地形区分と名称図」『埼玉大学紀要 社会科学編』、1975年、pp.11-14
埼玉県『新編埼玉県史 別編 自然』、ぎょうせい、昭和61年、pp.8-9

埼玉県の概要（人口・産業・交通）

総人口 **734万人**(全国**5**位)

出典 令和2(2020)年総務省「国勢調査」

- 1 東京都 1,405万人
- 2 神奈川県 924万人
- 3 大阪府 884万人
- 4 愛知県 754万人
- 5 埼玉県 734万人**

県内平均年齢 **46.8歳**(全国**7**位)

出典 令和2(2020)年総務省「国勢調査」

県内企業数
16万262企業(全国**5**位)

出典 令和3(2021)年埼玉県「経済センサス」

県内総生産(名目) **23.7兆円**(全国**5**位)

出典 令和3(2021)年度内閣府「県民経済計算」

- 1 東京都 113.7兆円
- 2 大阪府 41.3兆円
- 3 愛知県 40.6兆円
- 4 神奈川県 35.3兆円
- 5 埼玉県 23.7兆円**



日本一の交通の要衝

- ・東北、上越、更に北海道など6つの新幹線で東日本の主要都市に直結
- ・東日本の大動脈「東北」・「関越」・「常磐」自動車道が南北に縦断
- ・首都圏の高速道路を結ぶ「外環道」・「圏央道」が東西に横断

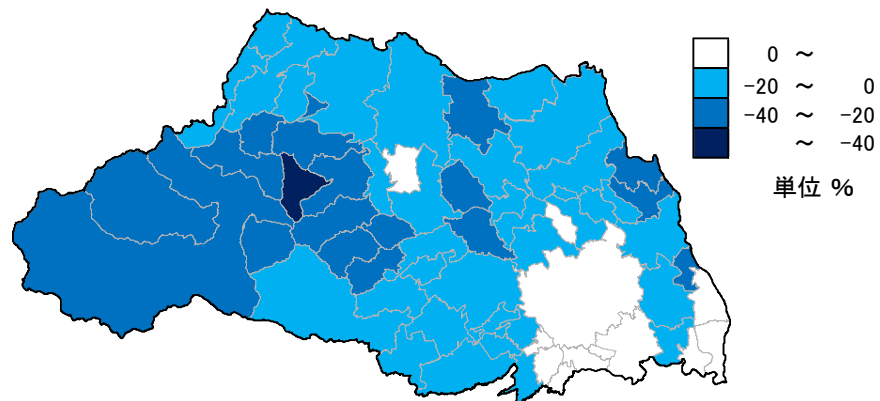
プロジェクトの背景

少子化や急速な高齢化に伴う本格的な人口減少社会が到来

人口減少

約734万人（2020）⇒ 約685万人（2040）^{*1}

「人口増減率（2020年→2040年）」^{*2}



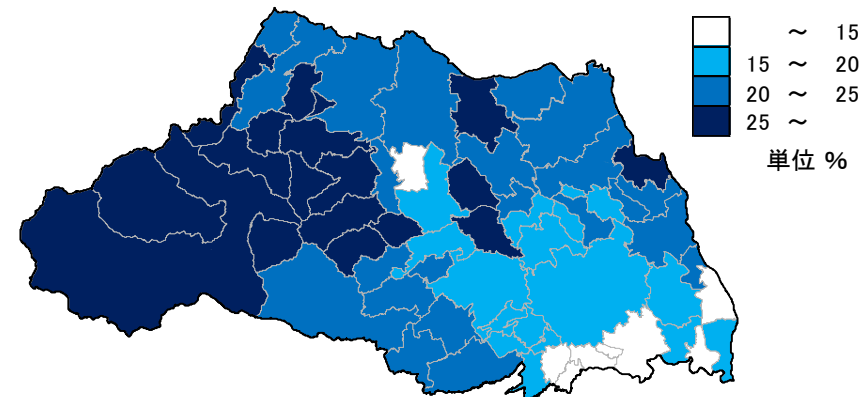
都市のスポンジ化

商業・交通の衰退、空き家の増加等

後期高齢者の増加

13.6%（2020）⇒ 18.1%（2040）^{*1}

「後期高齢者の割合（2040年）」^{*2}



医療・福祉の費用増加

厳しい財政運営

行政サービスの維持やインフラ更新が困難
+ 激甚化・頻発化する災害にも対応

^{*1} 出典：2020年は「国勢調査」、2040年は埼玉県推計

^{*2} 出典：2020年は「国勢調査」、2040年は社人研「日本の地域別将来推計人口」（2023年推計）

プロジェクトのコンセプト

市町村のコンパクト、スマート、レジリエントの3つの要素を兼ね備えたまちづくりを県が支援

コンパクト

【取組例】

- 医療、福祉、交流等の複合拠点を整備し歩いて暮らせるまちづくりを促進
- 公共施設や空き家を活用した地域の交流拠点の整備運営

スマート

【取組例】

- 生活利便性を高めるMaaSやデマンド交通の提供
- オンライン診療を活用した医療支援
- 自動配送ロボットやドローンによる配送支援

レジリエント

【取組例】

- 再生可能エネルギーの導入や蓄電池の活用等、災害時でもエネルギーが途絶えない仕組みの構築
- エリアマネジメント組織による地域交流拠点を活用した健康相談、介護予防、多世代交流



主な支援の内容

【1】市町村事業化支援チームによる支援

- **ワンストップ窓口** (エネルギー環境課) が一括して市町村の相談に対応
- プロジェクトにエントリーした市町村ごとに県関係課で構成する**事業化支援チーム**を編成し、プロジェクトの具体化を支援

【2】プロジェクト推進補助金による財政支援

①事業化検討補助	②事業推進補助
補助率 1/2、補助上限 500万円 まちづくりの事業化に向けた検討費用	補助率1/2、補助上限 5,000万円 まちづくりに関するソフト・ハード事業

＜活用市町村＞ 令和4年度：3市町、令和5年度：11市町

【3】まちづくりに関する技術支援

- **市町村の状況に応じたオーダーメイド型支援**
ウォーカブルなまちづくりや市街地開発事業などの都市整備手法に関する技術面での助言・提案を実施
- **先行事例の研修会**
市町村の担当者向けに全国の先行事例を通して、まちづくりの手法等を学ぶ研修会を開催

【4】企業等とのマッチング支援①

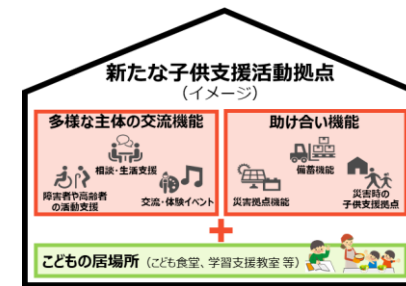
- **応援企業等登録制度** (令和6年12月末時点登録数：186団体)
市町村と連携・協働してまちづくりを推進する意思がある企業・団体を登録し、県が市町村とのマッチングを実施
- **市町村と企業等との交流会**
県が主催の交流会でマッチングを促進

【4】企業等とのマッチング支援②

- **ガバメントピッチの開催**
市町村が抱える課題について、企業等が解決策を提案するガバメントピッチを開催し、両者のマッチングを強化 (令和5年度実績：8件のマッチングが成立)
- **まちづくり先行事例セミナー**
 - ・先行して取り組む市町村と企業等との協働事例を紹介
 - ・ガバメントピッチ参加自治体担当者による取組状況や感想の共有

【5】プロジェクトを加速させる市町村支援

- ・ 持続可能な地域公共交通ネットワーク構築の取組への支援強化
- ・ 認知症高齢者グループホーム等の整備促進
- ・ こどもの居場所に機能を追加した新たな子供支援活動拠点の整備促進
- ・ 商店街の空き店舗活用促進
- ・ 空き家バンクを通じた空き家利活用促進



【6】市町村事業と連携して実施する県事業

- ・ 賑わいのあるまちづくりやスマート交通システムを支援する県道整備
- ・ 水辺deベンチャーチャレンジによる水辺整備の推進
- ・ 河川の調節池を利用した再生可能エネルギー活用支援
- ・ 県有施設への再生可能エネルギー導入の推進

【和光市】スマート交通システム運行



出典：和光市ホームページ

【県】県道部のバス専用通行帯整備
【和光市】市道部のバス専用通行帯整備

市町村のエントリー状況

- 合計**46団体**（県内市町村の73%）が**エントリー済み**。
- 未エントリー団体に対しては、県のワンストップ窓口(県エネルギー環境課)がエントリーに向けた個別相談に対応し、伴走型支援を実施。

令和3年度エントリー団体

11
団体

さいたま市、熊谷市、秩父市、
入間市、和光市、久喜市、
毛呂山町、小川町、鳩山町、
横瀬町、美里町

令和4年度エントリー団体

18
団体

所沢市、本庄市、春日部市、戸田市、朝霞市、
桶川市、北本市、蓮田市、鶴ヶ島市、
ふじみ野市、白岡市、三芳町、小鹿野町、
神川町、上里町、寄居町、宮代町、杉戸町

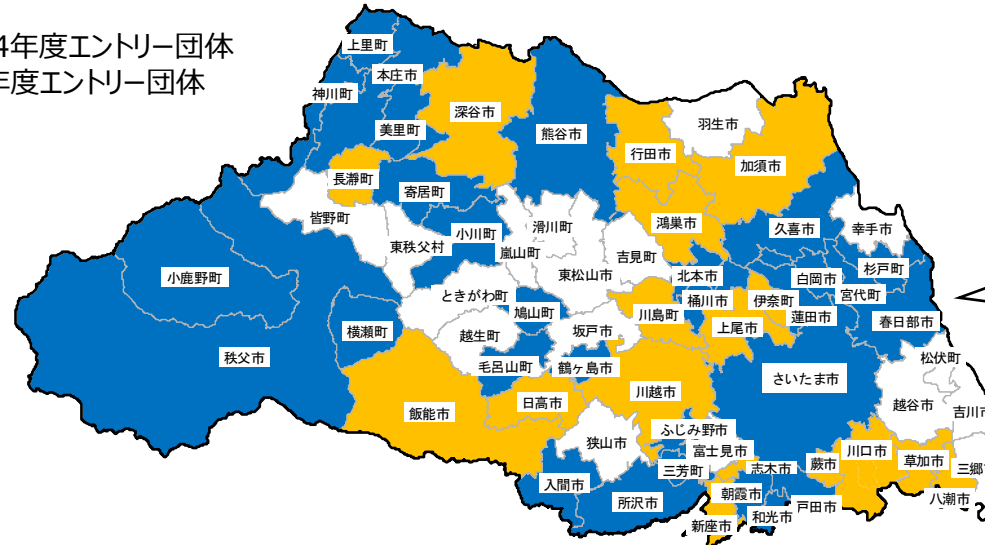
+

令和5年度エントリー団体

17
団体

川越市、川口市、行田市、飯能市、
加須市、鴻巣市、深谷市、上尾市、
草加市、蕨市、志木市、新座市、八潮市、
日高市、伊奈町、川島町、長瀬町

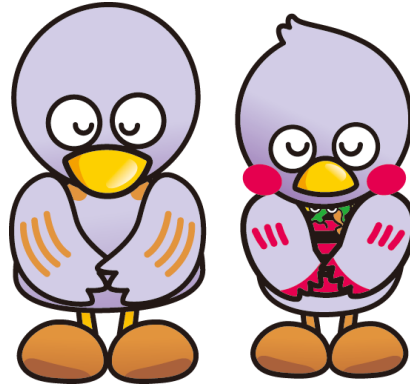
■ 令和3,4年度エントリー団体
■ 令和5年度エントリー団体



プロジェクトに取り組む

市町村数 合計 **46** 団体

ご清聴ありがとうございました



埼玉県のマスコット（コバトン&さいたまっち）

ご不明な点がありましたらお気軽にお問合せください

【問合せ先】

埼玉県環境部エネルギー環境課

エネルギー企画担当

電話 048-830-3186

E-mail a3170-01@pref.saitama.lg.jp